

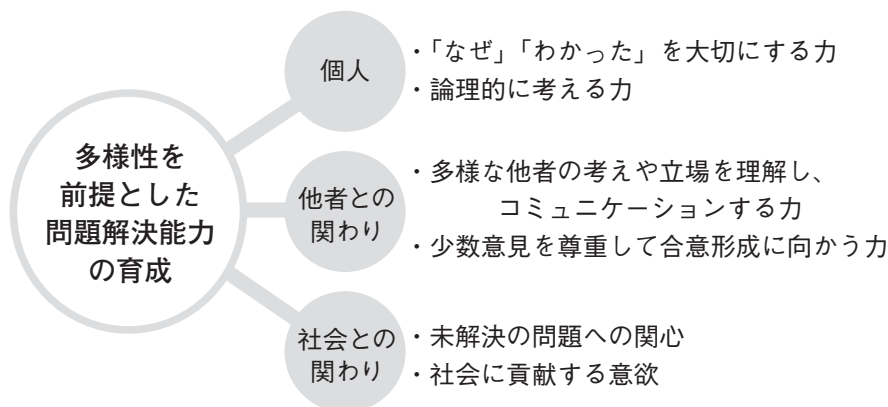
編修趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
30 - 39	小学校	国語	国語	2
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
11 学図	国語 203	みんなと学ぶ	小学校 国語	二年 上
	国語 204	みんなと学ぶ	小学校 国語	二年 下

I 編修の基本方針

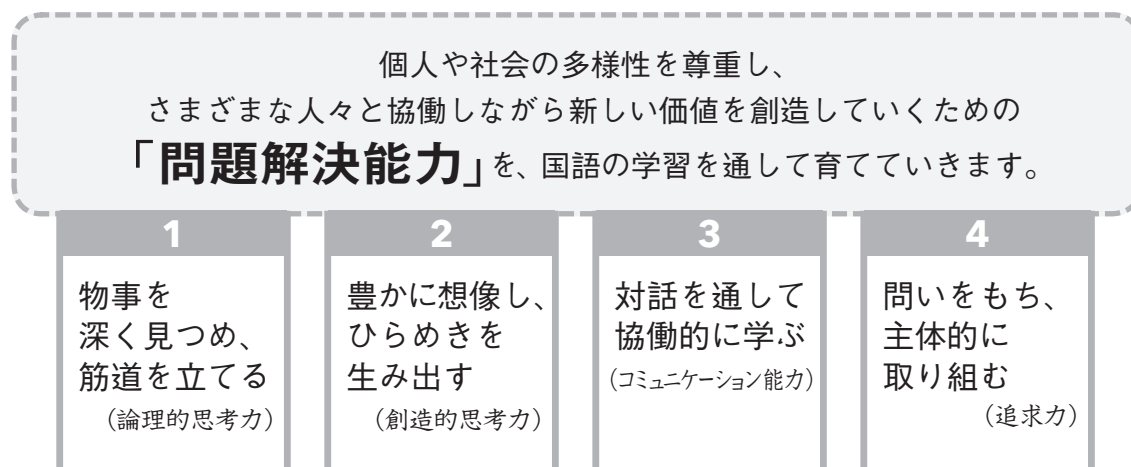
私たちは、共通の編修理念に基づき、育てたい資質・能力を以下のようにとらえました。



教育基本法第2条に示された教育の目標を達成するため、この教科書では上記の理念を取り入れ、次のような基本方針を掲げました。

「言葉と深く関わり、新しい世界を切りひらく」

言葉と深く関わり、没頭しながら、目の前の課題を踏み越えることができた時、子どもたちはこれからの社会を生きるための「確かな言葉の力」を身につけることができます。言葉の力を獲得し、自信と希望をもって新しい課題に挑戦する子どもたち。そのような姿を思い描き、教科書を編修しました。



この教科書では、問題解決力を育成すべく、その支えとなる力を4つに分けて整理しました。

1 物事を深く見つめ、筋道を立てる

対象を言葉で理解・表現し、物事を論理的に解釈する力を育成し、幅広い知識と教養を身に付けられるようにしています。また、思考操作の方法をメタ認知することにより考えの深化を促し、真理を求める態度や自主及び自律の精神を養います。

たこといかの墨の性質や逃げ方の違いを、文章を読みながら確かめ、物事を分析的にとらえます。

3 すずむしにたことといかについて読み、観察しよう

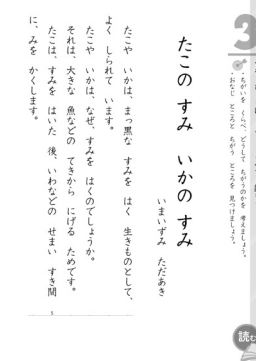

たこのすみ いかのすみ いまいずみ ただあそ

たこといかは、真っ黒なすみをはく生きものとして、よく知られています。たこといかは、なぜすみをはくのでしょうか。それは、大きな魚などのてきからにげるためです。たこと、すみをはいた後、いわなのせまい、すき間に、みをかくします。

たこのすみは、おぼろげな感じが、かいて、水の中で、黒いけむりのように、ひらがります。すみは、てこの目から、たをかくす。やくわりを、はたします。

それは、まるで、「えんまく」けむりの「まく」を、はいて、にげるに、んじやうです。

いかは、すみを、はい



「たこのすみ いかのすみ」(上巻 P52・53)

日常生活の出来事を、読み手にその様子がよく伝わるように、したことと思ったことに整理して順序よく書く活動を通し、論理的思考力の素地を養います。

4 よつぎの出来事について、書き手になることに挑戦しよう

ふだんのできごとをしようかいしよう

ふだんのせいさを、書きだした「たねカード」の中から、書くできごとをえらび、友だちや、先生、家づくに、しようかいする文しようを、書きましょう。

● 書くこと、おぼろげまよう

「ふだんカード」から、書く「できごと」をえらびましょう。

● このページの書き手

● 書くこと、おぼろげまよう

● このページの書き手



「ふだんのできごとをしようかいしよう」(上巻 P68・69)

2 豊かに想像し、ひらめきを生み出す

豊かに想像したり、思考を再構成して捉え直したりすることでその能力を伸ばし、情操を豊かにするとともに、既有的認識にとられない新しい価値を生み出すための創造性を培います。

物語「スイミー」を読み、人物に寄り添い豊かに想像をふくらませます。

1 おぼろげな想像を、お話の登場人物に添わせてみよう


スイミー レオ・レオニ・ニ・ニ

たにかわ、しゆんたう、やく

ひろい、うみの「びこ」かに、小さな魚の、きようだいた、が、のしく、くわした。

みんな、赤いのは、一びきだけは、かす、見よりも、まっ黒、でも、おぼろげは、だれよりも、はやかった。

名前、は、スイミー。



「スイミー」(上巻 P10・11)

生活の中での出来事を思い出し、音や様子を表す表現を工夫しながら、選び抜いた言葉で詩を作ります。

詩 読むこと、おぼろげまよう

したことを生き生きと

そのたねは、おぼろげなした詩の「できごと」を、思い出して、しを書きましょう。

● おぼろげまよう

おぼろげまよう、すうた

おぼろげまよう、すうた

おぼろげまよう、すうた

おぼろげまよう、すうた

おぼろげまよう、すうた

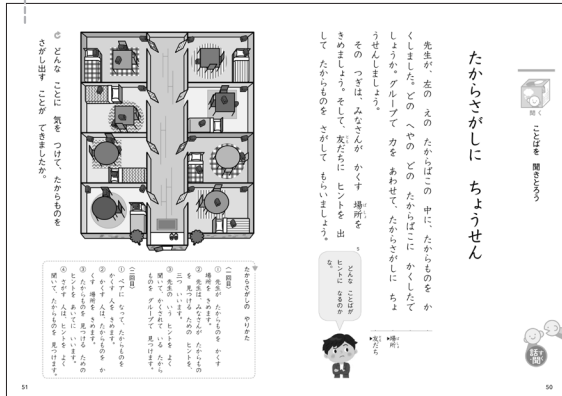


「したことを生き生きと」(下巻 P52・53)

3 対話を通して協働的に学ぶ

考えや立場の多様性を理解し、言葉を介して協働するための学習基盤を作っていくことで、個人の価値を尊重し、主体的に社会の形成に参加する態度を養います。また、活動目的を明確にし、互恵的な集団思考の有用性を図ることで、自他の敬愛と協力を重んずる態度や、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養います。

● ゲーム形式の活動を通して、目的や場に
応じて注意深く聞くための力をつけて、
伝え合う喜びを分かち合います。



「たからさがしにちょうせん」(上巻 P50・51)

● 主体的に話し合い活動に関わり、課題の解決
に向けて出されたアイデアを共有し、合意形
成に向かいます。

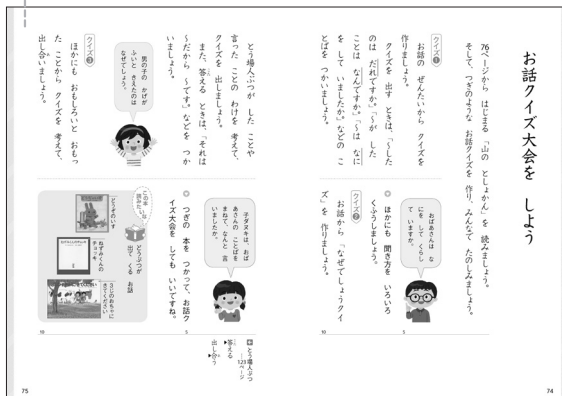


「やっごらんおもしろいよ」(下巻 P88・89)

4 問いをもち、主体的に取り組む

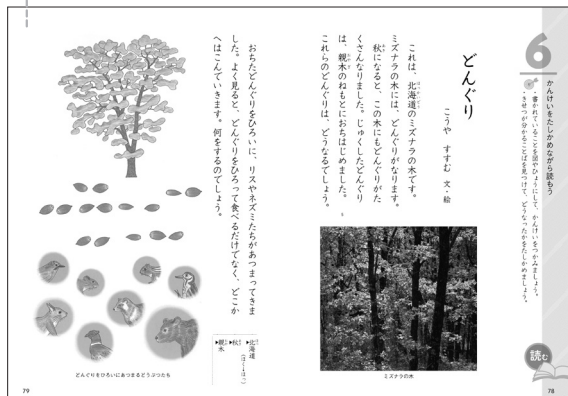
自ら課題を発見し、それを解決していくためのプロセスを構築する力を育てていくことで自主及び自律の精神を養います。また、積極的に課題に関わり、考え、判断し追求していくことで、主体的に社会の形成に参画する態度を養います。

● 物語を読み、自らクイズの手順を考え、
自発的に問いをつくることで、活動の意
味を考え、真の理解につながるための土
台を作ります。



「お話クイズ大会をしよう」(上巻 P74・75)

● 季節ごとのどんぐりと動物たちの様子をとらえ、どのような条件だと発芽し、成
長していくのかを、筆者の論の流れに
沿って探究的に読み進めていきます。



「どんぐり」(下巻 P78・79)

II 対照表

【上巻】

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
巻頭 ねぎぼうずのがくたい	詩を声に出して読むことで、豊かな情操と道徳心を培えるようにしました(第1号)。	表紙2～P1
本編 かん字の画 主語と述語 かん字のでき方 音やようすをあらわすことば くわしくあらわすことば・さしめ すことば 声に出してたしかめよう かん字のひろば1・2 ことばをつないで文を作ろう①・②	言葉の働きや文、漢字の学習を通し、幅広い知識と教養を身に付けるようにしました(第1号)。 言葉や文に着目し、読んだり書いたりすることで、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばすとともに、自主及び自律の精神を養えるようにしました(第2号)。	P26～27 P30～31 P46～47 P60～61 P94～95 P110～111 P43・67 P72・120
ヤマタノオロチ きせつのはより：春・夏 お話クイズ大会をしよう ／山のとしょかん	神話を読んだり、言葉から季節を感じたりすることで、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養えるようにしました(第5号)。 読書活動のクイズ作りの活動を通して、その能力を伸ばし、創造性を培うとともに、自主及び自律の精神を養えるようにしました(第2号)。	P112～119 P24～25・ P58～59 P73～87
はじめたよ、こんなこと たからさがしにちょうせん	話したり聞き合ったりする活動を通し、お互いのよさや特徴を知り、よりよい関係を築けるよう配慮しました(第2・3号)。	P28～29 P50～51
ことばビンゴをつくろう どう言えばいいかな	友達と協力して行う活動や、周りの友達との接し方を考える活動を通して、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、主体的に社会の形成に参画する態度を養えるようにしました(第2号)。	P8～9 P62～63
しらべよう、まとめよう 生きもの の一生 どこをくらべる？	調べたことをまとめたり、比べて整理したりする活動を通し、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養えるようにしました(第1号)。	P40～42 P104～109
いろいろな日記をかこう 書き出しをくふうしよう げんこうようしのつかい方 ふだんのできごとをしょうかいしよう	日常生活で感じたことや思ったことを書き表す活動を通し、個人の価値を尊重し、主体的に社会の形成に参画する態度を養えるようにしました(第2号)。	P22～23 P48～49 P64～65 P68～71
スイミー たべもの／いろんなおとのあめ	お話や詩を読み、人の心などの美しいものや気高いものに触れ、豊かな情操と道徳心を培えるようにしました(第1号)。	P10～21 P90～93
ほたるの一生 たこの すみ いかの すみ 食べるのは、どこ	生き物の生態や植物の特徴を題材にした説明文を読むことで、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養えるようにしました(第4号)。	P32～39 P52～57 P96～103
ずかんをつかってまとめよう	図鑑を使って調べる活動を通し、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養えるようにしました(第1号)。	P44～45
資料編 図書かんに行って読もう くれよんがおれたとき ことばのへや	図書館の利用の仕方を学んだり、身近な語彙について自覚的に見つめることで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養えるようにしました(第1号)。 物語を読み、豊かな情操と道徳心を培えるようにしました(第1号)。	P124～125 P128～133 P140

【下巻】

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
巻頭 いちばんぼし	詩を声に出して読むことで、豊かな情操と道徳心を培えるようにしました(第1号)。	表紙2～P1
本編 文のおしまいのひょうげん ことばであそぼう1・2 なかまのことば 二つのかん字のできたことば ことばをつないで文を作ろう1・2・3 かん字の広場	言葉の働きや語彙、漢字の学習を通して、幅広い知識と教養を身に付けられるようにしました。(第1号)。 言葉に着目して自覚的に学ぶことで、自主及び自律の精神を養えるようにしました(第2号)。	P34～35 P36・100 P86～87 P94～95 P37・69・101 P68
きせつのはより：秋・冬 本の「おび」を作ろう	言葉から季節を感じることで、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養えるようにしました(第5号)。 制作を伴う読書を通して、豊かな情操と道徳心を培えるようにしました(第1号)。	P16～17・ P74～75 P70～71

がんばってるよ、こんなこと こんなものがほしいなあ こんなあそびをしたよ	友達の前でスピーチをすることで、自律の精神を養い、正義と責任、自他の敬愛を重んずる態度を養えるようにしました（第2・3号）。	P18～19 P38～43 P76～77
やってごらんおもしろいよ	友達との交流を通して考えをまとめ、自他の敬愛と協力を重んずることができるようにしました。（第3号）。	P88～93
作ってあそぼう 組み立てを考えよう	身近なものを題材に書く活動を通し、自主及び自律の精神や勤労を重んずる態度を養えるようにしました（第2号）。	P12～15 P32～33
知らせたいことをはがきに書こう	文の書き方を理解し、思いや考えを書き表すことで、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばすとともに、自主及び自律の精神を養えるようにしました（第2号）。	P114～117
したことを生き生きと 何があったかな	詩や物語の創作活動を通して、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培えるようにしました（第2号）。	P52～53 P96～99
二年生をふりかえって	一年間の学びをふり返り、今後の学習に生かそうとすることで、主体的に社会の形成をし、その発展に寄与する態度を養えるようにしました。（第3号）。	P120
きつねのおきやくさま かさこじぞう お手紙 山	お話や詩を読み、人の心などの美しいものや気高いものに触れ、豊かな情操と道徳心を培えるようにしました（第1号）。	P20～31 P54～67 P102～113 P118～119
とべとべ回れ 水ぞくかんのしいくいん どんぐり	手作りおもちゃや身の回りの職業人を題材にした教材を通して、自主及び自律の精神を養うとともに、職業との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養えるようにしました（第2号）。 動植物を題材にした説明文を読むことで、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養えるようにしました（第4号）。	P6～11 P44～51 P78～85
資料編 あいさつのみぶりとことば ことばのへや	世界のあいさつをテーマにした文章を読むことで、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるようにしました（第5号）。 語彙について自覚的に見つめることで、幅広い知識と教養を身に付けられるようにしました。（第1号）。	P124～127 P136

Ⅲ 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

教育基本法第5条第2項及び学校教育法第21条に則り、以下の工夫をしました。

- **伝統と文化を尊重し、郷土愛と異文化を理解する態度を養います。**
 - ・ 昔話を声に出して読むことで、日本の文化や地域の文化に親しむよう配慮しています。
- **働くことの尊さや家族の役割に気付くよう配慮しています。**
 - ・ 飼育員をテーマに、働くことの喜びや意義に目を向けられるような読み物教材を掲載しています。
 - ・ 家でのケーキ作りをテーマにした教材を掲載し、家族とともに料理をすることで家庭での役割の大切さに気付き、自己肯定感や達成感につながるようにしています。
- **自然を大切に作る心を育てます。**
 - ・ 動植物をテーマにした読み物教材を掲載し、自然や環境保護への意識を持てるようにしています。
- **インクルーシブ教育、ユニバーサルデザインに配慮しています。**
 - ・ 文字の大きさ、書体（書き文字に近いフォント）、囲みや罫線による地の文との区別、色使いなどのレイアウトを工夫し、判読しやすくしています。
- **読書習慣を身に付け、生涯にわたって本に親しむ態度を育てます。**
 - ・ 本を見つけるための手掛かりとなるよう図書紹介のページを設け、読書への意欲と興味を喚起するようにしています。

編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
30 - 39	小学校	国語	国語	2
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
11 学図	国語 203	みんなと学ぶ	小学校 こくご	二年 上
	国語 204	みんなと学ぶ	小学校 こくご	二年 下

I 編修上特に意を用いた点や特色

○編修の基本方針

「深く考え、共感し、しなやかに生きる」

グローバル化が進展し先の読めない社会の中で、予測を超えた課題に向き合い、これからの未来をどう切りひらいていくか。

言葉と深く関わり、没頭しながら、目の前の課題を踏み越えることができた時、子どもたちは社会を生きるための確かな言葉の力を身につけることができます。

言葉の力は生きる力そのものです。みんなとともに一步一步、言葉の力を獲得し、自信と希望をもって新しい課題に柔軟に対応する子どもたち。そのような姿を思い描き、子どもたちの明るい未来へのスプリングボードとなる教科書をめざしました。

【めざす子ども像】

自ら学び、追求し、深く考え、自分の言葉で発信する姿。

互いの立場や考えを尊重し、対象を言葉で伝え合うことで自分の考えを確かめ、新たな価値の発見や考えの更新を実感する姿。

必要な情報を見極め、課題解決に向けて意思決定や行動選択のできる姿。



日本人としての感性や情緒を育むとともに、さまざまな文化や考え方の多様性を理解し、他者と協働していく姿。

【みんなと学ぶ 小学校 国語の特色】

何を
学ぶか

どのように
学ぶか

何ができるように
なるか

つきたい力を明確にし、対象と主体的に関わり、言葉による見方や考え方を働かせることで、確かな言葉の使い手となる能力を育てます。

特色 ① 確かな言語能力を育成します。

特色 ② 見通しをもって取り組むことで、学びの自覚化を促します。

特色 ③ 学ぶ意欲を喚起し、豊かな情操を育みます。

特色 ④ 対話の質を高め、多様な考えを受容する「共感力」を培います。

特色 1

確かな言語能力を育成します。

言葉に着目し、言葉で考える機会を設けることで、国語の基礎・基本を積み上げていきます。また、教材どうしを関連させることで系統性をもたせ、学習を繰り返しながら理解を深め、資質・能力の定着を図ります。

- スピーチの学習を、年間を通じて繰り返し行います。無意識のうちに使用する生活言語を用いて表現し、学びをふり返ることで、聞き手によく伝えるための力をつけます。



上巻 P28・29



下巻 P18・19

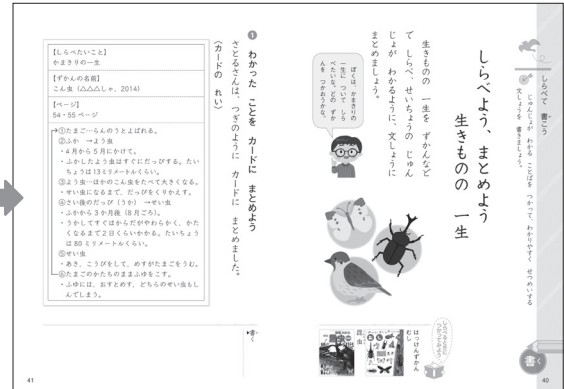


下巻 P76・77

- 説明文を読み、学んだ技能を使って書く活動につなげることで定着を図ります。



上巻 P32・33

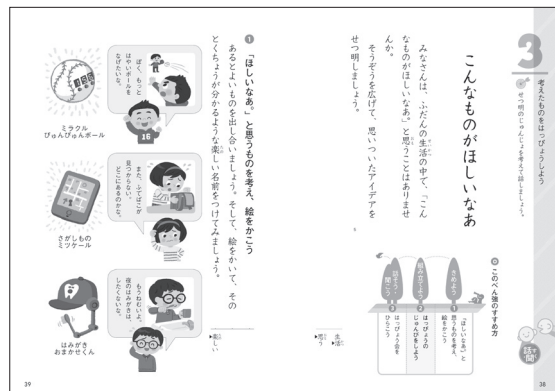


上巻 P40・41

特色 2

見通しをもって取り組むことで、学びの自覚化を促します。

- 学習前に、何のために、何を、どのように学ぶのかを確認することで、見通しをもって取り組むことができます。また、学習後には自身の学びをふり返ることができます。



下巻 P38・39



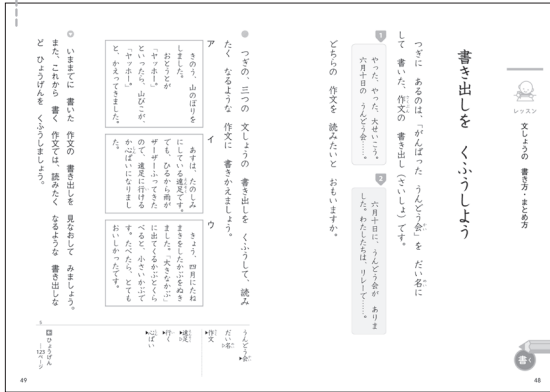
下巻 P42・43

特色 3

学ぶ意欲を喚起し、豊かな情操を育みます。

日常の出来事を、読み手を意識し表現を工夫して書くことで、思いを伝える喜びや作文の楽しさを味わいます。

昔話を読むことで、受け継がれてきた言語文化に親しみ、現代の自分の生活とのつながりに目を向けます。また、声に出して読むことで表現の豊かさを感じ取ります。



上巻 P48・49



下巻 P54・55

特色 4

対話の質を高め、多様な考えを受容する「共感力」を培います。

言葉に関わるゲームを通して、話し合いの基本的なルールを学ぶとともに、多様な考えを受け止め、互いの考えを深めていくための土台を築きます。

どのようにすれば相手と円滑にコミュニケーションがとれるのかを考えます。音声言語とノンバーバル言語の両面から人間関係のありかたを見つめます。

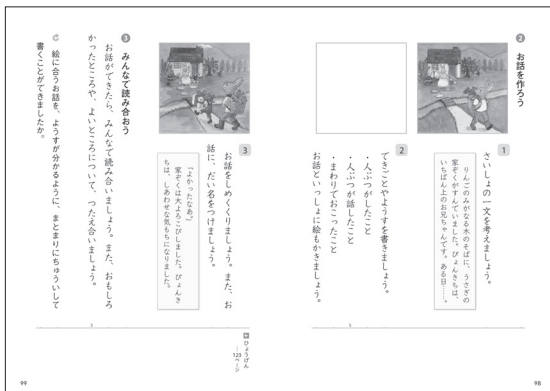


上巻 P8・9

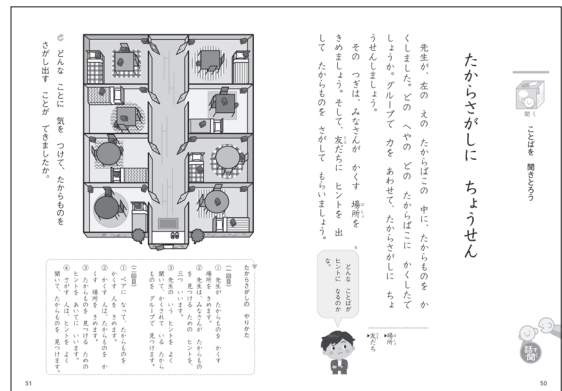


上巻 P62・63

● 読む活動や書く活動において、感想を伝え合う場面を設け、対話の価値に気付くとともに、自己有用感を高められるようにしています。



下巻 P98・99



下巻 P50・51

Ⅱ 対照表

【上巻】

図書の構成・内容	学習指導要領の内容		該当箇所	配当 時数	※
	1 知識及び技能	2 思考力、判断力、表現力等			
ねぎぼうずのがくたい	(1)ア, オ, ク	C (1)エ	p①～1	1	
ことばビンゴをつくろう	(1)ア, オ	A (1)オ	p8～9	2	
スイミー	(1)ア, ク	C (1)イ, エ, カ, (2)イ	p10～21	10	
いろいろな日記を書こう	(1)ア, ウ, カ	B (1)ア, (2)イ	P22～23	8	(1)ア
きせつのはより (はる)	(1)オ		P24～25	1	
ことばのいずみ 1 かん字の画	(1)エ		P26～27	2	
はじめたよ、こんなこと	(1)ア, イ	A (1)ア, ウ, エ	P28～29	3	(1)ア
ことばのきまり 1 主語と述語	(1)カ		P30～31	2	
ほたるの一生	(1)カ, キ, (2)ア	C (1)ア, カ, (2)ア	P32～39	10	
しらべよう、まとめよう 生きものの一生	(1)ア, カ, (2)ア, (3)エ	C (1)ア, イ, ウ, オ, (2)ア	P40～42	8	
かん字のひろば 1	(1)エ		P43	1	(1)エ
ずかんをつかってまとめよう	(1)オ, (3)エ	C (1)ウ, (2)ウ	P44～45	2	(1)イ
ことばのいずみ 2 かん字のでき方	(1)エ		P46～47	2	
書き出しをくふうしよう	(1)ア, オ	B (1)ア, オ	P48～49	4	
たからさがしにちょうせん	(1)ア	A (1)エ	P50～51	3	
たこの すみ いかの すみ	(1)ア, (2)ア	C (1)ウ, カ, (2)ア	P52～57	6	
きせつのはより (なつ)	(1)オ		P58～59	1	
ことばのいずみ 3 音やようすをあらわすことば	(1)オ		P60～61	2	
どう言えばいいかな	(1)ア	A (1)ウ	P62～63	2	(1)ア
げんこうようしのつかい方	(1)ウ, カ	B (1)エ	P64～65	2	
ことばであそぼう	(3)イ		P66	2	
かん字のひろば 2	(1)エ		P67	3	
ふだんのできごとをしょうかいしよう	(1)ア, ウ, (2)ア	B (1)ア, イ, ウ, (2)ア	P68～71	12	
ことばをつないで文を作ろう 1	(1)エ	B (1)ウ	P72	1	(1)エ
お話クイズ大会をしよう ／山のとしょかん／読書のへや	(1)ア, (3)エ	C (1)イ, エ, カ	P73～89	10	(3)
たべもの／いろんなおとのあめ	(1)ア, ク	C (1)エ, オ, カ	P90～93	2	
ことばのきまり 2 くわしくあらわすことば・さしめすことば	(1)オ		P94～95	2	
食べるのは、どこ	(1)ア	C (1)ア, カ, (2)ア	P96～103	10	
どこをくらべる？	(1)ア, ウ, カ, (2)ア	B (1)ウ, エ, (2)ア	P104～109	11	
ことばのいずみ 4 声に出してたしかめよう	(1)イ		P110～111	2	
ヤマタノオロチ	(3)ア	C (1)イ, (2)イ	P112～119	6	(1)オ
ことばをつないで文を作ろう 2	(1)エ	B (1)ウ	P120	1	

【下巻】

図書の構成・内容	学習指導要領の内容			該当箇所	配当 時数
	1 知識及び技能	2 思考力、判断力、表現力等			
いちばんぼし	(1)ア, ク	C	(1)エ	p①～1	1
とべとべ回れ	(1)ア, (2)ア	C	(1)ア, ウ, カ	p6～11	6
作ってあそぼう	(1)ア, (2)ア, (3)エ	B	(1)イ, ウ, オ	p12～15	10
きせつのだより (あき)	(1)オ			P16～17	1
がんばってるよ、こんなこと	(1)ア, イ	A	(1)ア, ウ, エ	P18～19	3
きつねのおきゃくさま	(1)カ, ク, (2)ア	C	(1)イ, エ, オ, カ	P20～31	10
組み立てを考えよう	(1)カ	B	(1)ウ, エ	P32～33	2
ことばのきまり 1 文のおしまいのひょうげん	(1)ウ, キ			P34～35	2
ことばであそぼう 1	(3)イ			P36	1
ことばをつないで文を作ろう 1	(1)エ	B	(1)ウ	P37	1 (1)エ
こんなものがほしいなあ	(1)ア, キ, (2)ア	A	(1)イ, エ, (2)ア	P38～43	12
水ぞくかんのしいくいん	(1)ア, キ, ク, (2)ア	C	(1)オ, ウ, カ, (2)ア	P44～51	10
したことを生き生きと	(1)ア, オ	B	(1)ア, オ	P52～53	6
かさこじぞう	(2)ア, (3)ア	C	(1)イ, エ, オ	P54～67	10
かん字の広場	(1)エ			P68	1
ことばをつないで文を作ろう 2	(1)エ	B	(1)ウ	P69	1 (1)エ
本の「おび」を作ろう／読書のへや	(3)エ	C	(1)カ, (2)イ	P70～73	3
きせつのだより (ふゆ)	(1)オ			P74～75	1
こんなあそびをしたよ	(1)ア, イ	A	(1)ウ, エ	P76～77	2 (1)ア
どんぐり	(1)ア, (2)ア	C	(1)ア, ウ, カ, (2)ア	P78～85	10
ことばのいずみ 1 なかまのことば	(1)オ			P86～87	2
やっごらんおもしろいよ	(1)ア, (2)ア	A	(1)イ, オ, (2)イ	P88～93	6
ことばのいずみ 2 二つのかん字でできたことば	(1)エ, オ			P94～95	2
何があったのかな	(1)ア, カ	B	(1)ア, ウ, オ, (2)ウ	P96～99	12
ことばであそぼう 2	(3)イ			P100	1
ことばをつないで文を作ろう 3	(1)エ	B	(1)ウ	P101	1
お手紙	(2)ア, ク	C	(1)エ, オ, カ, (2)イ	P102～113	10
知らせたいことをはがきで書こう	(1)ア, ウ	B	(1)エ, (2)イ	P114～117	6 (1)ア
山	(1)ア	C	(1)オ	P118～119	1
二年生をふりかえって	(1)キ	B	(1)イ, オ	P120	2

表内の記載は重点項目のみを示しています。

<備考>

- ・ 1 知識及び技能
 - (1)言葉の特徴や使い方に関する事項
 - (2)情報の扱い方に関する事項
 - (3)我が国の言語文化に関する事項
- ・ 2 思考力、判断力、表現力
 - A 話すこと・聞くこと
 - B 書くこと
 - C 読むこと

※には「2 内容の取扱いについての配慮事項」に関するものを示しています。